

山武農業事務所 普及だより 山武農業事務所
 山武農林業振興普及協議会
 〒283-0006 東金市東新宿1-11
 ☎ 0475-54-0226 FAX 52-7914
 ホームページ <http://www.pref.chiba.jp/apcenter/sanbu/>

夏ネギの生産拡大

夏ネギは、ここ数年単価が安定しており夏野菜として収益性が高い品目の一つです。また、既存の機械を有効利用できる利点もあります。

市場からは5、6月どりの増加を求められており、現在よりロットが増えれば販売が有利になります。1戸当たりの栽培面積の拡大は難しいですが、多くの方が少しずつ栽培すれば産地としてロットを増やすことが可能です。

このため、J A山武郡市、J A全農ちば、及び山武農業事務所では、J A山武郡市園芸部とともに多くの生産者に夏ネギ栽培に取り組んでいただけるよう、栽培講習会や先進地視察などを開催してきました。平成23年度は夏ネギ栽培マニユアルを作成し、大型トンネル利用による出荷の前進化や取り組みやすい露地栽培を推進しています。

夏ネギの作型と品種

作型	品種	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
大型(2条)トンネル栽培	春扇							○	V	V	V	■	■												○	●
小型トンネル栽培	春扇 (6月20日以降の収穫は羽緑)							○	V	V	V	■	■												○	●
無被覆	夏扇4号など								V	V	V	V	■	■											○	●

○ 播種 ● 定植 V 中耕、土寄せ、追肥 ■ 収穫 ○ トンネル被覆



茨城県岩井地域への視察(平成22年)



大型トンネル(左)と収穫直前のネギ(右 平成23年5月12日)

タバココナジラミが媒介する植物ウイルス病に注意!

山武地域の施設野菜で多く発生している植物ウイルス病を紹介いたします。ともにタバココナジラミが媒介する病気です。

○トマト黄化葉巻病

この病気はトマト黄化葉巻ウイルスによるもので、ウイルスを保有したタバココナジラミがトマトの葉を吸汁することで感染します。感染したトマトは、生長点付近の葉が黄色く下側に巻き(写真①)、症状が進むと生長が止まります。発病以降は正常に生育せず、収量が低下するため、重大な被害をもたらします。タバココナジラミ防除の徹底、感染株の抜取り、施設内外の雑草の処理等の対策を行い、感染の拡大を防ぎましょう。

○ウリ類退緑黄化病

この病気は今年千葉県で発生し、山武地域の施設キュウリでも発生が確認されました。トマト黄化葉巻病と同様、タバココナジラミが媒介するウイルス病

で、感染すると葉が徐々に黄化し(写真②)、樹勢が落ちてしまいます。キュウリの他、メロン、スイカなどのウリ類全般に感染するため、栽培時にはトマト黄化葉巻病と同様な対策が必要です。ご不明な点は、当農業事務所改良普及課までお問い合わせください。



上(写真②): 黄化した葉 (キュウリ)
右(写真①): 生長点付近の症状(トマト)

低濃度エタノール 土壌還元消毒について

平成23年の7月より実施している、エタノールによる土壌還元消毒による中間結果をお知らせします。

トマト、ミニトマト3圃場において根の掘り取り調査を実施しました。

その結果、エタノール消毒区でのネコブセンチュウ密度は深さ45cmまでほぼ0頭でした。

しかし、ハウス内でのばらつきがあり、ハウスの中心部分では、ネコブセンチュウ被害はほとんどありませんでしたが、妻面やサイド部分では、若干の被害がみられました。

ネコブセンチュウに対する効果は確認できたものの、エタノールの価格が高いため、今後さらに低濃度での処理が可能かなど、また課題が残っています。今後すべての圃場での掘り取り調査を実施し、効果の確認や

導入について検討していきます。

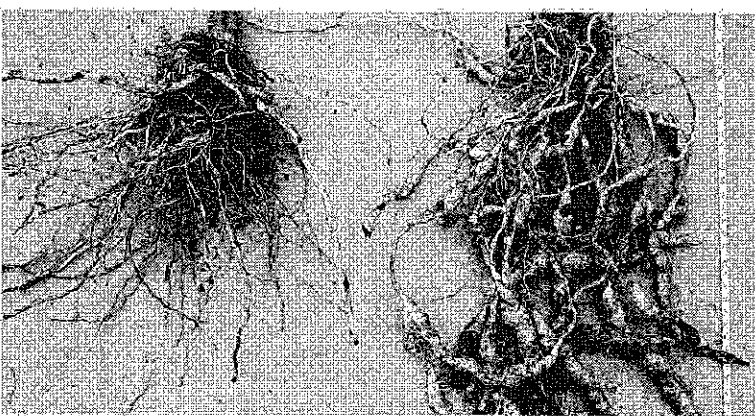


写真 トマトの根
右: 慣行区 (ネマトリンEース粒剤)
左: エタノール消毒区

平成23年産米の 品質について



昨年の水稲の作況指数は、千葉県100、九十九里98でした。しかし、山武地域では「穫れなかつた」という方が多かつたようです。品質面では、格落比率が例年よりやや多く、屑米が多い(粒が小さい)、茶米が目立つ点が特徴的です。また、カメムシによる斑点米も多く発生しました。

水稲の生育は、葉色が濃く稚移し、特にコシヒカリでは稈長が伸びて倒伏したほ場が多く見られました。昨年は梅雨期が早く過ぎ、6月下旬から7月中旬にかけて、幼穂形成期の頃が高温少雨となり、このことが籾数の増加や稈の伸長に影響したと考えられます。

また、7月の早生・中生品種の出穂期に台風6号の通過に伴う強風があり、後に穂の著しい褐変が発生しました。これによりふさおとめ・ふさこがねで、

茶米が多発生し、コシヒカリも外観品質が低下しました。

米の食味は、出穂期以降の葉色と深い関係がありますが、食味の検査結果は例年に比べてタンパク質含量が高めで、食味の評価値がやや低い傾向でした。

今年は、食味・品質の向上に向けて次の点に注意しましょう。

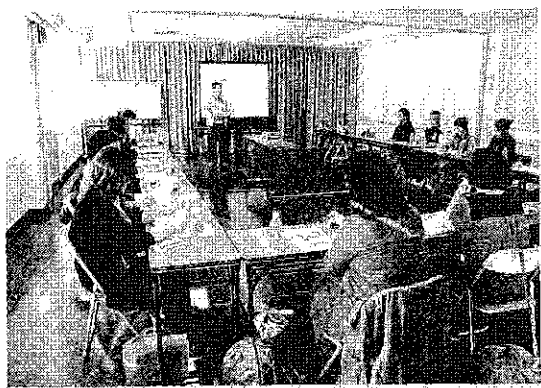
- 1 肥料設計……倒伏や葉色が濃すぎる場合は減肥する
- 2 水管理……幼穂形成期に、中干しを止め必ず入水する
- 3 カメムシ防除……殺虫剤の適期散布、ほ場周辺の雑草対策
- 4 ケイ酸資材の施用……籾殻を固くし、倒伏軽減や品質向上などに有効です。

新規起業セミナーを 開催しました

山武農業事務所では、平成23年11月17日と12月6日の2回にわたり、新しく起業を志している17名を対象に、起業セミナーを開催しました。

セミナーでは山武郡市内の先進起業家による講演の他、加工施設の見学や起業に必要な知識等の講義を行いました。

本セミナーは平成24年度も継続して開催します。参加を希望される方は、気軽に当農業事務所



起業を目指して勉強します！

所までご相談ください。

- ・対象 象：起業を考えている農業者
- ・内 容：起業に必要な知識等の学習、先進起業家視察等
- ・開催場所：山武農業事務所及び同管内の現地等
- ・開催回数：平成24年度に2回開催予定
- ・参加費：無料

農業経営者育成セミナーの 参加者を募集します

新しく農業を始めた皆さんを対象に、同世代のネットワーキング作りと、農業の基礎的・専門的な知識、技術を身に付ける事を目的に開催します。是非ご参加ください。

- ・対象 象：新規に就農した概ね35歳までの青年農業者
- ・内 容：研修期間は3か年講義及び現地視察等
- ・開催場所：山武農業事務所及び同管内の現地等
- ・研修期間：平成24年5月から3年間
- ・参加費：無料

平成23年度認証 指導農業者・農業者の紹介

今年度新たに1名の指導農業者と4名の農業者が認証されました。益々のご活躍を御期待します。

●指導農業者

○緑川 和夫氏
（みどりかわ かずお）
山武市富田で、
観光イチゴ園を
経営しています。
観光イチゴ組合
の発展に貢献し、後継者の経営
力や技術力向上支援に積極的に
携わっています。



○浅岡 勉氏
（あさおか つとむ）
大網白里町細
草で、施設野菜
と水稲を中心
とした経営を
しています。自
宅で取れた野
菜等の直売に
熱心に取り組
んでいます。



○池田 信一氏
（いけだ しんいち）
大網白里町北
今泉で施設野
菜のトマトと
キュウリを中
心にしています。
若手農業者の
集う大網白里
町農業研究会
の会長として
活躍しています。



○池田 延好氏
（いけだ のぶよし）
大網白里町北
今泉で施設野
菜のトマトと
キュウリを中
心にしています。
堆肥を活用
した美味しい
野菜づくりを
心がけていま
す。



○糸日谷 学氏
（いとひや まなぶ）
大網白里町北
今泉で施設野
菜のトマトと
キュウリを中
心にしています。
トマト部の
役員として、
トマトの品質
向上に努力
しています。



東金市 細谷 一善氏
（ほそや かずよし）
「緑白綬有功章」
（りよくはくじゆゆうこうしょう）
受賞章

受賞章

細谷一善氏は東金市で大規模水稲経営を行っており、長年、農業に真摯に取り組み、農業経営の発展や地域農業への貢献が評され、平成23年11月18日、大日本農会主催の農事功績者の表彰において、「緑白綬有功章」を受賞されました。

この表彰事業は明治27年から数え、今年で第95回目を迎える民間表彰としてはもつとも歴史と権威のあるものです。細谷氏のますますのご活躍を期待します。



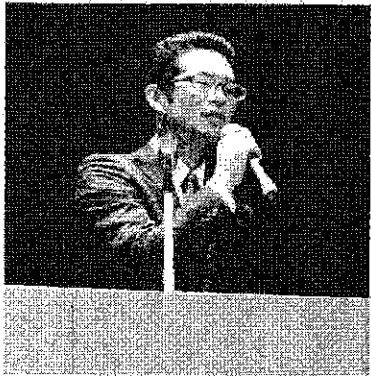
表彰会場にて

山武農林業 フォーラムの開催

「消費者に支持される山武の農林業」をテーマに12月2日に山武市成東文化会館のぎくプラザで開催され、消費者を含む総勢226名が参加しました。

午前中は、2コースにわかれて、エンジンの収穫体験や、山岸園芸（東金市）のシクラメン栽培を見学しました。

午後からは、千葉大学の浄閑先生より「放射性物質による土壌汚染の影響とこれからの農産物生産」と題して講演していただき、その後、生産者から消費者との交流活動について発表がありました。



講演中の浄閑先生